

全国初！広域連携による公衆無線LANの整備と認証連携（大分県大分市）

取組概要

全国初！複数自治体が連携した公衆無線LAN（Wi-Fi）の整備

1. プロポーザル方式による3市の共同調達・整備でのスケールメリットを生かす
2. 観光地の別府市・由布市との連携によって、観光による相乗効果を狙う
3. 共通のSSID*による切れ目のないWi-Fi環境サービスの提供
4. 九州の玄関口である福岡市との連携で、さらなる可能性の拡大

SSIDとは、無線LAN（Wi-Fi）におけるアクセスポイントの識別名。「Onsen_Oita_Wi-Fi_City」のこと。

取組の効果

1. 3市の導入・ランニングコスト、行政事務量の大幅な削減
重複する経費が削減でき、“筋肉質”で“WIN-WIN”な事業を実現
2. 相互のPR連携による相互送客（観光連携）
HP上で観光情報やPRバナーを相互に設置し、回遊性の向上
3. 共通のSSIDによる認証基盤の一元化（Onsen Oita Wi-Fi City）
利用者が初回登録で、3市間（大分市・別府市・由布市）で再登録なしで利用可能
4. シームレスな（途切れることがない）Wi-Fi環境の実現（福岡市との連携）
認証連携で再登録なし、アプリなしで利用可能。利用しやすさでリピーターを獲得



人口 479,123人 (H28.7月末)

担当部署 企画部企画課・情報政策課
商工労働観光部観光課



全国初の3市共同によるWi-Fiの整備(H28.2)

創意・工夫した点

- ◆各市でプロジェクトチーム(PT)を結成し、3市のPTの合議体で協議を行ったことにより、各市の調整がスムーズに進んだ。
- ◆3市長の覚書締結により、調達事務を1市（大分市）が主体的に担うことにより、事業期間の短縮が可能になった。
- ◆3市の特性（交通結節地・人気観光地等）を生かすことにより、Wi-Fi整備の効用が高まった。

他団体へのアドバイス

- ◆自治体間の連携は取り掛かりが難しいところもあるが、数度集まって情報共有ができれば顔と顔の付き合いができる。
- ◆別事案においても話がスムーズに進む。（各市の受付窓口としての機能が強化）
- ◆各都市の強みを生かすことで、150万人の大都市とも対等に協力関係が築ける。



全国初の県域を越えた認証連携(H28.4)